新設消防署・玉川学園踏切

渡辺厳太郎（自由民主党）

問 本町田に新設予定の消防署は、町田市全域の防災拠点だ。面積の拡充と隣接地を訓練用地として整備を求む。

防災安全部長 消防団長と調整の上、東京消防庁に提案し、約8千平方メートルに敷地拡張されることとなりました。訓練は、スポーツ広場として影響がない範囲で可能となりますが、今後、管理する部署と協議を行っていきたい。

問 ふるさと納税の魅力向上のため、返礼品に人間ドックや健康診断等といった創意工夫が必要だと考えるが。

財務部長 今後もさらなる創意工夫によるふるさと納税の確保に努めていきたい。

問 玉川学園の踏切は改善実施が義務だ。対応を求める。

道路部長 拡幅については、都と調整したり、国、近隣市の動向を見ながら検討について考えていきたい。

建設中の消防署新庁舎

誇れることのできる町田に

熊沢あやり（自由民主党）

問 玉川学園前駅は市内で3番目の乗降者数であるが、電車がとまったとき、他の交通手段がないので対策を。

都市づくり部長 さまざまな手段を周知する手法もあわせて検討するよう鉄道事業者に働きかけを行っていきます。

問 教育の質を上げることにより市内へ子育て世帯がふえると思うがどう考えるか。

教育長 ICTや英語教育の推進に先進的に取り組むことで、町田市ならではの特色、魅力を打ち出していくことが可能と考えています。

問 内閣の経済財政諮問会議において町田市が取り上げられたようだが内容は。

市長 町田市が自発的に、人口が同程度の自治体に参加を呼びかけて、共同で行財政改革に取り組んでいることを、全国展開すべき優良事例であると評価をいただいています。

転院支援情報システムの活用を

おく栄一（公明党）

問 転院支援情報システムの活用で、患者・家族の負担を軽減する配慮を検討すべき。

市民病院事務部長 転院先を検討する際に必要な診療内容、費用など幅広い情報提供が可能になるため、患者さんの要望を聞きながら説明するツールとして活用したい。

問 「公衆浴場の利用の機会の確保」をスポーツ団体や親子交流の場などに使っては。

経済観光部長 新たな支援策は、どのような支援をすれば利用者がふえるのかという視点から研究していきたい。

問 聴覚に障がいを持つ方とのコミュニケーションに、より多くの音声変換機材の導入をすべきだが。

地域福祉部長 音声を文字に変換できるソフトウェアを導入したタブレット端末を、来客数の多い窓口14カ所と全管理職に配付しています。

さらなる超高齢社会を見据えて

佐藤和彦（まちだ市民クラブ）

問 在宅介護をさらに充実していくための課題をどのように捉えているか。

いきいき生活部長 今後の課題は、医療と介護の連携の強化が必要であり、そのための医療系サービスのさらなる充実を図っていくことです。

問 在宅での認知症高齢者を支える取り組みとして、家族介護者支援の視点からどのようなことを考えていくのか。

いきいき生活部長 家族介護者を支える仕組みとして家族介護者教室や交流会、臨床心理士による介護者等相談、認知症電話相談等を引き続き進めていきます。

問 公用車運転業務の見直しが示されているが、具体的な検討内容は。

財務部長 リース車両について、既に導入している自治体の状況等を調査し、導入に向けた検討を行っていきます。

教育環境・総合治水・交通拠点

藤田　学（自由民主党）

問 教育投資の充実を図り、家庭の経済状況や発達状況等にかかわらず、子どもたちの誰もが希望する教育を受けることができる社会づくりを。

教育委員長 国や都が、教育の無償化や奨学金制度の充実等を図り、子どもたちが望む教育を受けることができる制度を整えているということにつきましては、大変意義のあることだと考えています。

問 これからの梅雨の時期を前に総合治水対策のさらなる促進を求める。

山田副市長 雨水管の整備等を進め、河川整備は東京都神奈川県に引き続き強く早期整備を要望していきます。

問 桜美林学園周辺交通ターミナルの整備進捗を伺う。

山田副市長 17年度中に小山田桜台から唐木田方面へのワゴン車による検証運行を実施する予定です。

若年者への乳がん検診を求めて

あさみ美子（公明党）

問 近年、罹患者がふえている若年者への乳がん検診を、10月のピンクリボン月間に導入してはどうか。

保健所長 イベントにおいても医学的な検査を行う場合には、適切な精度管理のもとに実施することが必要になり、今後どのような取り組みが効果的か研究していきたい。

問 高齢者等の買い物弱者を支援する仕組みを検討してはどうか。

いきいき生活部長 町田市でも、適宜関連部署や民間の事業者と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

問 通学定期の指定系統以外の路線・区間の利用拡充について検討を求める。

都市づくり部長 学生が夜長い距離を歩いて帰宅することがないような環境づくりは必要であり、バス事業者としっかりと話をしていきたい。

乳がん検診、がん検診の
周知パンフレット等

小山スポーツ広場について

河辺康太郎（まちだ市民クラブ）

問 公園として整備する方向性が示されたが、現在の状況は。

都市づくり部長 13年度事業に着手し、17年度の完成を目指していました。14年度に公園予定地の測量は完了しましたが、予定地への接道が確保できていないため、現在は整備を見送っている状況です。

問 整備完了までの見通しは。

都市づくり部長 整備再開時期は未定ですが、公園予定地に接道がとれ次第整備計画を再開したいと考えています。

問 附帯施設を含めグラウンドの整備は、どのようなものを想定しているか。

都市づくり部長 多種多様な競技に対応できる多目的グラウンドとして考えており、ダスト舗装を想定しています。その他は整備ができるようになった段階で検討したい。

野津田公園はどう変わるか

わたべ真実（まちだ市民クラブ）

問 公園北側区域が拡張し、陸上競技場改修も予定されている。どこまで整備予定か。指定管理者の自主事業として進む可能性はあるか。

都市づくり部長 自主事業は市と指定管理者が協議の上行い、現在、自主事業拡大の協議は行っていません。本事業は第二次野津田公園整備基本計画に基づく整備までの暫定活用として行っています。

問 小学校給食の食器がプラスチック製に順次切りかわる。プラスチック容器の安全性が危惧された時代もあった。その心配は解消されたのか。

学校教育部長 使用を始めたポリエチレンナフタレート食器については、食品衛生法に基づく規格基準に適合しています。また、環境ホルモンとされているビスフェノールAの試験検査結果が不検出であることも確認しています。

中心市街地のにぎわいについて

三遊亭らん丈（自由民主党）

問 近年中心市街地の通行量が減少しているが、にぎわいを創生する施策を問う。

山田副市長 町ににぎわいを創出するためには、回遊性の向上という観点からは短期間のイベント的活用ではなく恒常的な活用が求められます。

問 運転免許証を自主返納する誘因づくりと返納後の配慮をすべきではないか。

防災安全部長 自治体の地域特性や、免許証を持っていない方との公平性が損なわれないよう慎重に判断する必要があると考えています。

問 「日本遺産」に登録できる国指定の文化財を有する町田市は、それをもっとアピールすべきではないのか。

生涯学習部長 地域の活性化に文化財が活用できるように、その魅力に触れる機会をふやし、情報を内外に発信していくことに努めていきます。

ペデストリアンデッキから
～中心市街地～